



兵庫工業会 NEWS

2021年1月1日

発行／公益社団法人 兵庫工業会

No.297

謹賀新年



2021年の新年を迎えて



新年あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いいたします。

昨年を振り返りますと、とにかく新型コロナウイルス問題に翻弄された一年でした。令和はじめてのお正月を慶賀の気持ちで迎えたものの、あっという間に国内はもとより全世界で感染が拡がり、大きな不安と混乱が続く中、4月に緊急事態宣言が発せられました。結果、コロナ禍以前から弱含みであったわが国の経済は極めて大きな打撃を受けました。残念ながら終息は見通せず、感染防止と経済活動のバランスをどう取っていくのか、という重い課題が今も続いています。一日も早く安全で有効なワクチンや治療薬が手元に届くことを望むばかりです。

兵庫工業会も大きな影響を受けました。多くの行事が中止や延期を余儀なくされ、会員の皆さまにも多大なご不便とご心配をおかけしました。しかし、昨年度に定めた新しい活動方針「変化に挑戦 輝く未来へ」から、コロナ禍という「変化」に全面降伏するのではなく「挑戦」をしていく、という思いで活動に取り組みしました。すなわち関係者の皆さまの多大なご協力、ご理解を得ながら、3密回避やマスク着用などの基本的な対策を講じた上で、でき得る限りの範囲や内容で諸活動を進めて参りました。会合はオンライン開催も併用しながら、会員相互の意思疎通に努めました。また、広い県下各地域特有の課題や生の声を聞く機会として「地域交流会」を再開し、西播磨と淡路2地域から始めたところ大変な好評を頂きました。従来から進めてきた「ものづくり事業での女性活躍」も継続して活動し大きな反響を頂いております。

さて2021年はどのような年になるのでしょうか？
明るい未来が見通せる希望に満ちた年にぜひともしたいものです。

昨年就任された菅義偉総理は、目指すべき社会の形として「自助・共助・公助」という考え方を表明されています。この考えをものづくり事業の発展に

置き換えると、

- ・自助は「個社でできる活動を自分の力で進めること」
- ・共助は「個社だけではできない活動を、企業間の横のつながりやネットワークで進めていくこと」
- ・公助は「行政による制度改革や財政的な支援」

ということになります。兵庫工業会はこのうち「共助」を担う機関として、今後も会員各位のお役に立てるよう努力を続けて参ります。

言わずもがなですが、ものづくりには現場があり、そこで働く人がいます。仮想空間ではなく現地・現実・現物での営みがあります。それゆえ簡単にはいかない部分もありますが、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた新たな課題が浮かび上がっていると認識しています。

従来から言われている働き方改革に3密回避というコンセプトを取り入れていく必要があります。リモートワークの活用などの柔軟な勤務体制や働きやすい職場環境が求められます。デジタル技術のものづくりへの適用をいっそう活発化させるとともに、これらを土台に企業経営そのものをどう変えていくのか、という取り組みが重要になります。また自然災害だけでなく感染症対策も念頭に置いたBCP（事業継続計画）の立案も大きな課題です。

「共助」を担う兵庫工業会といたしましても、「会員相互の研鑽・交流のさらなる活発化」、「AI、IoTやロボット技術などの新技術導入に向けたサポートの充実」などアフターコロナ時代に向けた新たな活動を、従来に加えて企画・実行してまいります。そして会員各位が「本当に入会していてよかった」、「自社の経営力強化に役立っている」と感じていただける兵庫工業会を目指し、活動をしていく所存です。どうか引き続きましてのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が会員各位やご家族の皆さまにとりまして、幸多き一年となりますことを心からお祈りいたしております。

公益社団法人 兵庫工業会

会長 宮 脇 新 也

新年のご挨拶

副会長 村元 四郎

(グローバル化推進委員会 委員長)



新年あけましておめでとうございます。

2020年度は新型コロナウイルスがグローバル経済に急ブレーキどころか「一旦停止」を強いたような年となってしまいました。

昨年のご挨拶の中では、「ものづくりのパートナー国であるベトナムを総括する事業を！」と意気込んでおりましたが、ビジネス往来が一部緩和されたとはいえ、まだまだ渡航すら厳しい環境であることに変わりはなく、ミッション等の事業については見通しが立たない状況です。

一部報道ではサプライチェーンの再構築による国内回帰などが取りざたされていますが、安直にグローバルサプライチェーンから離脱し、部品や原材料の調達先の選択肢が狭まれば、ものづくり企業の生産性は下がらざるを得ず、競争力が削がれてしまうのではないのでしょうか。一方でグローバル化推進委員会の場合などで企業の取り組みをお伺いしていると、遠隔会議システムなどを駆使し、海外顧客や海外生産現場との確認・擦り合わせをされるなど、粘り強く企業活動に取り組まれています。そしてこれを今後支えていくのは、IoTやICT技術を駆使した企業活動であり、経営者から労働者まですべての企業構成員にDX（デジタル・トランスフォーメーション）が求められていると感じます。

会員企業各位におかれましては、このような時期で様々なご苦労はあろうかと存じますが、兵庫工業会各事業へのご参加をお願い申し上げます。

最後にこの一年の皆様のご健勝を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

副会長 金井 宏彰

(産業・技術振興委員会 委員長)



皆様 あけましておめでとうございます。

昨年は、何と言ってもコロナ禍一色により世界が一変しました。

今までの生活・行動様式や価値観までも見直ししなければならない状況下で、行政からのコロナ禍での補助・助成・支援策も多く見られ、活用された方も多かったかと思います。

行政からの施策に関しては、コロナ下だけでなく、通常時期においても、出される施策とものづくり企業（工業会）が期待していることがうまくマッチングしているかが重要になります。

昨年、その擦り合わせの手始めとして兵庫県の産業労働部と産業支援策に関する意見交換会を開催することができました。本年もさらに深化させ、理想的・将来的には、工業会から行政に対して意見・要望・提言を行い、それに基づいて予算建て・施策作りを進めていただくような流れが作れば素晴らしいかと思っています。

加えて、本年、アフターコロナを支えるDX・ロボット・働き方改革などに関わる具体的事業にも取り組んでいきたいと考えていますので本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

副会長 竹田 佑一

(人材育成委員会 委員長)



新年あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、会員企業の皆様におかれましては、多くの企業で影響をお受けになったことと存じます。

人材育成委員会としても密を避けるということで、多くの事業が実施出来ませんでした。菅内閣に代わり、特にデジタル化が推奨されています。我々としては、ものづくりを実践する中で、リアルな現場を大切にしながら、デジタルの要素を加え、進化させていくことが必要になって来ております。

with コロナの時代がまだまだ続くと考えられますが、企業にとって、やるべきことはコロナの前も後も変わっていないはずですが、新しい生活様式を始め、世の中の環境は間違いなく変わることが想定されます。企業も自社の立ち位置を冷静に判断し、ポストコロナ社会と共存する必要があると思われます。IT人材の採用、適材適所への再配置による新商品、新事業の創出と大きな意味で、構造改革を推し進める必要があるでしょう。

人材育成委員会としても、少しでも皆様のお役に立てるよう努力していく所存です。

今年も宜しくお願い致します。

副会長 神門 登

(会員交流委員会 委員長)



新年明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症パンデミックの発生により、日本を含む世界経済はリーマンショックを超える激動の一年となりました。また人生100年時代が愈々現実化し、IoTや人工知能の技術革新が更に発展して、2030年ごろには人類史上5番目の新社会「Society5.0」が到来すると予想されています。

一方、2000年以降 日本の企業の成長は世界の国々と比べると大きく出遅れ、経営力の抜本的な向上が急務となっています。そのため企業はデータとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、業務、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立するDX（デジタルトランスフォーメーション）への取り組みは不可欠となるでしょう。

このような大きな変革には、チャレンジ精神が旺盛で、スピード感に溢れ、オーナーシップを発揮できる中小企業には大きなチャンスです。兵庫県には多くのものづくりに関連した企業、豊かな行政組織、高度な教育研究機関があります。兵庫工業会のネットワークを生かし、変革に資するあらゆる資源をフル活用して、「ピンチをチャンス」に変えましょう。会員交流委員会では会員の皆様が「会員になって良かった」と実感できる魅力ある事業を展開していく所存です。

本年も引き続き会員皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

危機を乗り越え、 ポストコロナの新時代に挑む



新年あけましておめでとうございます。

去年は、新型コロナウイルスとの戦いの年でした。しかし、未だ終息にはほど遠い状況です。

一方、コロナ禍は社会を変革する契機ともなりました。県民とともにこの危機を乗り越え、地域創生やデジタル化に力強く取り組み、ポストコロナ社会を先導する活力あふれる兵庫をめざします。令和3年は本格的に歩みを進める年とします。

第1は、新型コロナ対策の充実。自宅療養ゼロを堅持しつつ、入院病床や宿泊療養施設を十分に確保します。マスク着用の徹底、検温の実施、外出抑制、感染リスクの高い施設の利用を控えるなど、家庭、職場、施設へウイルスを持ち込まない地道な取組が何より大切です。一人ひとりの行動が大切な家族や友人、仲間の命を守ることにつながります。是非、ご協力をお願いします。

第2は、兵庫の元気回復。経済の下支えを図りつつ、スタートアップ拠点を活用した起業・創業の支援、新たなサプライチェーンの構築を後押しします。兵庫と東京を専用回線で結び、情報ネットワークにより東京圏からの企業誘致も促進します。農林水産業のスマート化も急務です。“都市部から地方へ”の潮流を捉え、兵庫への呼び込みを図ります。

第3は、安全安心の基盤強化。コロナ禍でも自然災害は待ってくれません。地震・風水害に備える安全な県土づくりを進めます。県民が安心して暮らせる福祉の充実も強化します。

第4は、ポストコロナも見据えた兵庫の未来づくり。「2030年の展望」を具体化する取組を進めるとともに、2050年頃を目標年次とする新ビジョンの策定に向けた検討を加速させます。

我々は、戦災、様々な自然災害など、幾度もの危機を乗り越えてきました。阪神・淡路大震災もそうでした。

再び、県民の叡智を結集して、兵庫の新時代をともに築き上げるため、挑戦していこうではありませんか。

コロナ禍を 乗り越えていく 県民の ひたむきな歩み 夢をめざして

兵庫県知事

井戸敏三

新年に寄せて



新しい年を迎えるにあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

兵庫工業会におかれましては、地域の産業を支え、雇用の受け皿として重要な役割を果たしておられますことに、深く敬意を表します。これからも兵庫工業会の皆様と力をあわせ、地域経済の発展を目指してまいりたいと存じますので、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

阪神・淡路大震災から四半世紀という時が過ぎ、この間に復興や財政再建を最優先に取り組んだ結果、神戸市の財政対応力は着実に回復してきました。近年は、大阪湾岸道路西伸部の着工、都心部やウォーターフロントエリアの再開発、北神急行電鉄の市営化による運賃引き下げ、各駅の拠点性向上など、将来を見据えた街づくりを進めてまいりました。

そのような折、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が起きました。未曾有の感染症の出現により、我が国を含め世界中の風景は一変しましたが、同時に、ウイルスの出現前にあった課題は依然として存在し続けています。現役世代人口の減少、超高齢社会、東京一極集中などへの対応のあり方を、withコロナ時代、さらにその先のポスト・コロナ時代の到来を見据えながら考えていかなければなりません。

withコロナ時代において、まずは高密度至上主義とも言えるような働き方や暮らし方を見直すことが求められます。神戸は、市街地から至近の場所に広がる六甲山や里山地域、穏やかな瀬戸内海に面した海といった豊かな自然環境に恵まれています。その地理的特徴を最大限に活かし、地域のビジネス・居住環境を向上させ、全国からの移住・定住を進めるなど、バランスのとれた街づくりを進めていきます。

そして、令和の時代に間違いなく進化するテクノロジーを積極的に取り入れながら、誰もが子育てしたい、学びたい、働きたい、住み続けたい街として選ばれるよう、子育て・教育施策とともに「まちの質」「くらしの質」を重視した施策の強化を図り、神戸を見違える街へと変革してまいります。

過去の歴史に学びながら、新型コロナウイルスへの感染拡大防止対策と市民生活・経済活動の維持・回復の両立に取り組んでまいりますので、神戸市政に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますことをお祈りいたします。

神戸市長 久元 喜造

謹 賀 新 年

会 副	長 会	宮 村	脇 元	新 四	也 郎	理 事	清 眞	水 下	泰 直	人 忠
専 務	理 事	金 竹	井 田	宏 佑	彰 一	〃	井 西	上 野	正 利	貢 行
常 務	理 事	神 宮	本 木	俊 重	要 光	〃	番 石	所 田	和 啓	史 之
理 事	事 務	荒 小	澤 田	文 伸	雄 藏	〃	中 近	川 藤	洋 松	輝 一
〃	〃	森 千	阿 比	野 上	剛 智	〃	瀧 山	浦 川	圭 勝	祐 敏
〃	〃	井 大	庫 上	良 佳	一 昭	〃	中 安	川 藤	裕 英	子 隆
〃	〃	大 井	島 村	孝 康	夫 保	〃	永 豊	井 嶋	義 里	雄 富
〃	〃	岡 岡	田 村	武 勝	和 修	〃	瀨 太	川 田	和 康	志 勲
〃	〃	吉 陰	山 橋	勝 彦	聰 啓	〃	阿 宮	倉 内	一 寿	哉 伴
〃	〃	高 中	村 元	悦 憲	子 一	〃	矮 降	松 矢	公 哲	磨 民
〃	〃	久 中	木 西	安 真	樹 一	〃	友 河	藤 上	千 久	雄 也
〃	〃	中 頃	安 田	谷 月	要 重	〃	三 清	津 水	圭 信	磨 稔
〃	〃	小 上	月 保	安 直	郎 安	〃	高 倉	石 本	隆 健	悟 二
〃	〃	大 大	村 村	俊 和	子 広	〃	宮 下	井 田	純 博	城 孝
〃	〃	下 久	保 田	直 純	樹 三	〃	福 藤	嶋 本	和 子	和 子
〃	〃	黒 山	本 本	純 純	三 三	〃	山 山	本 本	博 博	和 和

監 事

「テクノフォーラム2020 講演会」ご報告

12月1日(火)午後、「テクノフォーラム2020講演会」を神戸ポートピアホテルにて開催しました。この講演会は、新型コロナウイルス感染症拡大により開催できなかった「夏のビッグイベント2020」に代わる講演会として実施したものです。当日は約70名の方に参加をしていただき、無事、講演会を終了することが出来ました。

＜講演 15:30～17:00＞

題目：「イノベーションの新流儀 ～変化と不確かさの時代を生き抜くためのマネジメント～」

講師：同志社大学大学院ビジネス研究科 教授 北 寿郎 氏

GDPの成長率を見てみると、昭和の時代（約60年間）は50倍増えたのに対し、平成の時代（約30年間）は1.3倍しか増えていない。日本に何が起こったのか？の問題提起から講演がスタートしました。変化のスピードが速くなり、また、今年是不確実さが増すコロナと共存する時代となってしまいました。世界のトップを走ってきた日本が行き詰まっています。令和がスタートした今、両手遣いのマネジメントが求められているのではないかと。一方ではデジタルトランスフォーメーション（DX）の進展と働き方の大きな変化があります。既存事業の深掘り・目標達成のマネジメント

にはPDCA（Plan, Do, Check, Action）サイクルを回し、新規事業の開拓・目標探索のマネジメントにはOODA（Observe, Orient, Decide, Act）を回す、この2つを駆使して両立させて、不確かさの時代にイノベーションを起こしていくことが、これから求められると考えます。今回の講演が企業経営の1つのヒントになればと願っております。



コロナ対策をした講演会場の様子



講演中の北 教授

令和2年度職域における創意工夫者表彰 表彰式

現場の改善活動などに貢献された方々を顕彰する「職域における創意工夫者表彰式」を12月23日(水)、兵庫県公館にて開催し、兵庫県知事賞80名、兵庫工業会会長賞90名の方々が受賞されました。

コロナウイルス感染拡大特別期のさなかでしたが、ウイルス対策を万全とし、列席者の皆様にも全員マスク着用いただくなどご協力賜り、無事開催することができました。

厳かな雰囲気の中、それぞれ代表の方に荒木副知事、宮協会長より賞状と記念品が手渡されました。受賞者の皆様、おめでとうございます。



代表受賞者への兵庫県知事賞授与



パーテーション越しの宮協会長挨拶

兵庫工業会淡路地域交流会開催について

兵庫工業会は、地域の要望を踏まえたきめ細かい事業運営を行うために、2017～2018年度に兵庫県下を8つに分け、地区ごとに会員の皆様にお集まりいただいて「地区別会員情報交換会」を開催し、ご意見をお聞きしてきました。その中で各地域より継続して開催してほしいとの意見が多く、地域間の会員交流の促進や、地元企業のご意見をお聞きすることを目的に、昨年度には西播磨地域、今年度には淡路地域にて地域交流会を開催いたしました。以下、淡路の開催内容を記すと共に、今後開催予定の北播磨について記します。

1. 淡路地域交流会

(1)開催日 2020年11月6日(金)

(2)開催場所

企業見学会：(株)キド

意見交換会：淡路インターナショナルホテル ザ・サンプラザ

(3)参加者

- ・淡路地域会員企業 11名
 - ・淡路地域企業 4名
 - ・その他地域企業 3名
 - ・会員交流委員会企業 7名
 - ・行政 兵庫県2名、淡路県民局3名
 - ・マスコミ 1名
 - ・兵庫工業会 宮協会長・神門副会長 他
- 事務局を含め計37名の方々にご参加いただきました。



淡路地域意見交換会

(4)意見交換会

今年度はコロナ禍のために十分な感染対策を行い、会場の入り口での検温、消毒、ソーシャルディスタンスを保った座席やパーティションを準備し、マスクを着用して、発言毎にマイクの消毒を行いながら意見交換会を行いました。会員交流委員会の上村委員の司会のもと、以下のことが話題になりました。

- ・淡路地域では橋を渡る分、物流コスト高くなる。本州側に他社との共同の物流拠点を作る等、島内の物流の一元化を図れないか。
- ・淡路島内のバスの便が少なく、通勤等の人の移動に難がある。
トラック物流を増やすと、車の渋滞が予想されるのが心配。
- ・パソナの淡路進出は採用面でもインパクトが大きい。大いに活用してはどうか。
- ・淡路島で大型の製品を作る場合、運ぶ手段として車を使うしかないが、島から出るときは高速道路しかないため、寸法規制があって大物は運べない。規制緩和をお願いしたい。
- ・2017年の淡路では人材確保が問題であったが、魅力ある企業や給料を良くすれば人は集まる。
- ・淡路の皆さんは南海大地震への備えをどうしているのか。橋が使えない場合のBCPにつき行政に相談に乗ってもらい詰めていきたい。



宮協会長によるご挨拶

2. 北播磨地域交流会（予定）

①開催日 2021年2月2日(火)

②開催場所

企業見学：伊東電機(株)

意見交換会：いこいの村はりま



淡路地域意見交換会
(パーティション使用による意見交換会)

皆様のご参加をお待ち申し上げます。



株式会社神防社

所在地：〒651-0079 神戸市中央区東雲通3-4-3
T E L：078-241-3505 F A X：078-241-3506
U R L：http://kobosha.com/
代表者：代表取締役 辻 真一

昨年12月に兵庫工業会に入会させて頂きました、株式会社神防社、代表の辻と申します。宜しくお願い致します。

弊社は設立より本年13年目の会社で、神戸の防災の会社と書いて「神防社」と申します。

事業内容は、消防設備の設計施工・保守点検をメインに、近年増えつつある自然災害に備え、消防・防災関連のあらゆる商品を取り扱っております。

自社で設計施工からメンテナンスまでを全て一貫してでき、技術力、技能力共にレベルの高い人材が揃っておりますので、皆様に安心安全・高品質なサービスを提供できることに誇りを持ち、日々業務に勤しんでおります。

また、消防・防災用品に関しましては、現在オリジナル商品開発に向け、様々な観点から防災を見つめ直しているところです。防災意識が高まる現代で、皆様により“防災”について知ってもらうため、身近に感じてもらうため、防災に「×○○○」を取り入れた小さなチャレンジを進めています。

【女性メンテナンスチーム結成】

「まだまだ男性社会なイメージが強い建設業界で、女性がもっと活躍できる場所をつくりたい」そんな思いから“女性だけのメンテナンスチーム結成”に踏み切りました。

現在、女性の為の、女性による女子寮・マンション・女子大等の消防設備点検の実現化に向け、女性従業員を増やす取組みや、女性の職域の拡大や管理職への登用を積極的に進めています。

2018年3月より開始した“ワークライフバランス”の取組みでは、3プロジェクトの内一つに“女性メンテナンスチーム”を掲げ、もっと沢山の方に建設業界で働く楽しさ、やりがいを知ってもらい、性別関係なく活躍できる会社を目標に、チーム一丸となって活動して参りました。このようなチームの取組みが実を結び、本年11月にはひょうご仕事と生活センター様より企業表彰を頂きました。

また、この度兵庫工業会様より機会を頂きました「ものづくり分野における女性就業の促進事業」通称“もの女”の取組みでは、新事業企画や文系ものづくり女性社員による業務仕分けについて、社内の女性チームでワークショップを行いました。

始めは皆緊張していましたが、時間が経つにつれ緊張もほぐれ、思い思いの意見が沢山飛び交いました。自分の想いを素直に伝えることができる環境、このような機会は本当に大事だということに気付かされましたし、普段仕事しているだけではなかなか気付けない、他部署の仕事内容を知る機会にもなり、より一層仲間意識が芽生えたのではないのでしょうか。

今後は女性目線でデザインされたオリジナルユニフォームの製作など、様々な方法で、現場作業員の格好良さがもっと多くの方に伝わるよう、皆と沢山のアイデアを出していきたいです。

最後に、女性に限らず男性も、他の皆との出会いを通して今ここに『神防社』があります。

これからも人との出会いを大切に、感謝して過ごしていきたいです。

会員企業の皆様との出会いも大切に。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



KOBOSHA
Emergency Management

神防社の新しいロゴ
『災害をマネジメントする』



“もの女”でのワークショップの様子



ワークショップで話し合った内容を発表



女性メンテナンスチームによる点検風景

会 員 動 向

代表登録者変更				
企 業 名	新 登 録 者		旧 登 録 者	変 更 月
株式会社トクセンエンジニアリング	代 表 取 締 役 社 長 藤 原 新 吾		杉村 隆士	2020年11月
日鉄テクノロジー株式会社 広畑事業所	執行役員 広畑事業所長 池松 陽一		井口 安弘	2020年12月
役職変更				
企 業 名	登 録 者	新 役 職 名	旧 役 職 名	変 更 月
株式会社アビノ	田中 昭夫	取締役顧問	取締役会長	2020年12月
住所変更				
企 業 名	新 住 所			変 更 月
フルハート国際特許事務所	〒650-0034 神戸市中央区京町76-1 明海三宮ビル4階			2020年11月

計 報	黒田 次郎氏（姫路信用金庫 理事相談役）（2011年6月～2020年12月まで本会理事） 12月1日、ご逝去されました。（享年84歳）ここに、会員各位とともに謹んで哀悼の意を表します。
-----	---

イ ベ ン ト 情 報

月 日	事業名・内容	場 所
2月2日(火)	北播磨地域交流会	伊東電機㈱・いこいの村はりま
2月18日(木)	合同委員会	有馬 古泉閣
3月16日(火)	2020年度第4回理事会	ホテル北野プラザ六甲荘
5月15日(土)	ゴルフ大会	美奈木ゴルフ倶楽部
5月31日(月)	第62回通常総会	神戸ポートピアホテル

ご入会・セミナー・講演会・研修などのお問合せ・お申込みは…



公益社団法人 兵庫工業会

本 部 〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター 3 階
TEL 078(361)5667 / FAX 078(371)4336
Eメールアドレス mail@hyogo-ia.or.jp
URL http://www.hyogo-ia.or.jp

神戸事務所 〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター 3 階
TEL 078(361)5667 / FAX 078(371)4336

姫路事務所 〒670-0962 姫路市南駅前町123 じばさんびる 3 階
TEL 079(223)8230 / FAX 079(223)8231